

平成31年度 校長挨拶 校長 米石 達也

睦中学校の校長として赴任して2年目となりました。よろしくお願いいたします。

今年度最初となる始業式を4月5日に行いました。そして、生徒たちにこのような話をしました。

「皆さん、進級おめでとう！」

「2年生は先輩になります。来週入学してくる新入生にとって良き手本となって下さい。新入生にとっては新しい学校になります。入学するにあたり、とても不安になっている生徒も多くいるでしょう。君たちの力でその不安を取り除いてほしいと思います。そして、この睦中学校の中心として3年生をしっかりと支えてください。」

「3年生の皆さん、ついに最上級生となりました。先日卒業した先輩たちのように、この睦中学校のリーダーとして学校を引っ張って行ってください。今度入学してくる新入生やここにいる2年生は、君たちの後ろ姿を見ています。これからもこの睦中学校を誇れる学校にして下さい。」

「では、2年生は全員起立して左に3歩移動してください。移動したら全員右を向いてください。」

「次に3年生は全員左に向いてください。」

※それぞれの学年が向かい合う形になり、真ん中に通路ができる隊形にしました。私は、通路の真ん中まで歩いていき、生徒が向かい合っている中心に移動しました。

「これは、何に見えますか。(白い卓球ボールを手に持って示す。)」

「ウミガメの卵です。」

※白いボールを8個、生徒たちに渡して手に取ってまわしてもらう。

「先ほどのウミガメの卵というのは冗談です。ただの卓球のボールです。ボールはこちらに戻してください。」

「さて、この8個の卓球のボールのうち、一つだけ重いものがあります。それを上皿天秤に載せて量りながら調べてもらいます。」

「皆さん、上皿天秤はわかりますか。そうです、両側にお皿が乗っかっているものです。重い方が下がります。」

「何度もこの天秤を使えば、一つだけ重いものを調べることができます。それは簡単なので、天秤を2回だけ使って一つだけある重いボールを特定してください。」

「さあ、周りの人と相談して方法を考えてみましょう。」

「天秤のお皿はボールを同時に8個載せることもできるくらい大きなものです。」

「そうです。天秤は一つしかありません。」

※生徒たちは周りの人と話し合いをしながら真剣に答えを見つけようとしています。お互い向かい合っているの、答えを探し出そうとしている仲間の様子がよくわかります。

「1つヒントを出します。お皿の上に最初に載せる数は4つずつではありません。」

※再び、話し合いをします。暫くすると、2年生の男子が目を輝かせて手を挙げてくれました。生徒は全員、その生徒に注目をします。

「最初、それぞれの皿に3つずつ載せます。次に、重い方の3つのうち、一つずつ皿に載せて量ります。釣り合った場合には、残った一つが重いボールです。」

「なるほど、他の考えはありますか。」※私が考えていた正答でしたが、違うアイデアもあるかも知れないので皆に聞いてみました。また、その調べ方がわからない生徒もいるようでちょっと戸惑っている様子の生徒もいました。その様子を察して、別の2年生の男子が手を挙げてくれました。

「こういうことだと思います。まず、3つずつ皿に載せます。それが釣り合ったら残り2個のうちどちらかが重いボールです。残った2つのボールをそれぞれの皿に載せればどちらかが重いボールなのかわかります。そうでなくて、3つずつ載せたうちのどちらかが下がったとしたら、下がった方の3つのボールのうち、どれかが重いボールです。その3つのボールのうち一つずつを皿に載せて量ります。どちらかが下がったらそれが重いボールで、釣り合った場合には、残った一つが重いボールです。」

※その方法を丁寧に説明してくれました。皆、感心しているようすでした。まだ、ピンとこない生徒もいるように見えました。

「そうだね、皆さん方法はわかりましたか。まだ、わからない人がいたら友達に聞いてください。今、お互いの様子がわかるように向かい合って問題解決をしました。この睦中学校ではこのように課題を皆で相談しながら授業を進めてきましたが、昨日先生方で長い時間をかけて話し合いをした結果、教室の座席をコの字の隊形にして、お互いの話し合いの様子が見えて、友達の意見が聞きやすいようにすることにしました。皆さんもこの目的を理解して授業に臨むようにしてください。」

「はいっ！」※元気な返事が返ってきました。

このようにして新年度の睦中学校はスタートしました。

教科指導がスタートして1週間たった後、全校生徒にアンケートをとりましたが、「コの字の机の配置の方が良い。」という生徒の方が多くいました。しばらく、この机の配置を継続して本校の授業研修を重ねていこうと思います。